

大学院 教育評価アンケート結果

2019年度 博士後期課程

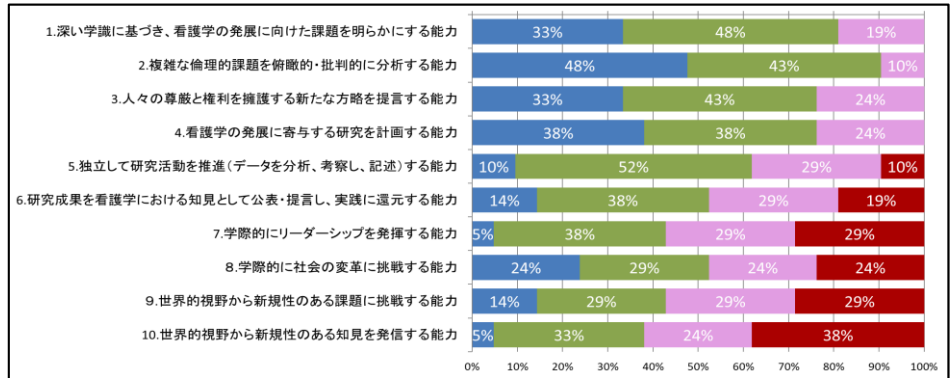
2019年度の博士後期課程(看護学専攻)の在学生(1~3年生)を対象とした教育評価アンケートの調査結果についてご報告いたします。

■ 強く思う ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そうは思わない ■ 全くそうは思わない ■ 無回答

I. 現時点であなたが以下の項目を身につけているかについて回答してください

博士後期課程(看護学専攻)において現時点で身につけている能力として、在学生の**3割以上**が「強く思う」「そう思う」と回答した項目は、**10項目のうち4項目**でした。

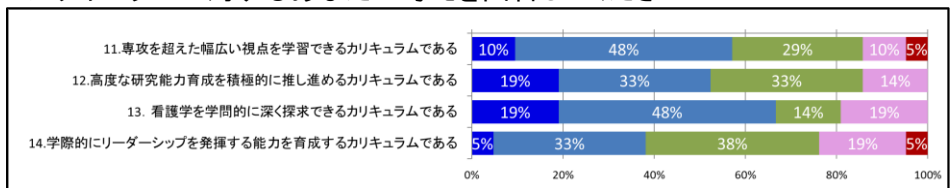
そのうち、「深い学識に基づき、看護学の発展に向けた課題を明らかにする能力」(33%)は「DP1. 看護における現象を深い学識をもとに捉え、看護学の発展に向けた課題を明らかにする能力」に対応しています。また、「複雑な倫理的課題を俯瞰的・批判的に分析する能力」(48%)と「人々の尊厳と権利を擁護する新たな方略を提言する能力」(33%)は「DP2. 人々の尊厳と権利を擁護するために、複雑な倫理的課題を俯瞰的・批判的に分析し、新たな方略を提言する能力」に対応しています。さらに、「看護学の発展に寄与する研究を計画する能力」(38%)は「DP3. 看護学の発展に寄与する研究を独立して推進する能力」に対応しています。



II. 本学大学院(博士後期課程)のカリキュラムに対するあなたの考えを回答してください

博士後期課程(看護学専攻)のカリキュラムの受け止めについて、**6割以上**の在学生が「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、**4項目のうち1項目**でした。

看護学を学問的に深く探求できるカリキュラムであると評価されています。



III. 大学院における以下の内容に関する満足度を回答してください

本学大学院への満足度として、博士後期課程(看護学専攻)の在学生の**8割以上**が「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、**24項目のうち12項目**でした。

学問分野の専門家として優れた教員や、学生を尊重する教員、教育や研究、実践に対して熱意を持った教員、人間的な魅力のある尊敬できる教員が多いことが評価されています。また、ガイダンスやシラバスの充実さや主体的に学べる授業が多いことが評価されています。さらには、窓口対応のスムーズさや図書館の開館日・閉館時間の適切さ、図書館での情報検索・文献収集への支援の充実さ、キャンパスの利便性、保健室や学生相談室の利用のしやすさ、キャンパスの安全性が評価されています。

